

2023 年 11 月 1 日

Smart vLive® 重要事項説明書

- 本説明事項は「Smart vLive®サービス利用規約」（以下、利用規約）を補足する内容です。
- 本サービスの御利用にあたり、利用規約と共に、御利用の条件となります。
- 本説明事項と利用規約の両方を、必ず御確認・御承諾頂いた上でお申込み下さい。
- 本説明事項と利用規約の内容に矛盾が生じる場合、利用規約の内容が優先されます。

No.	項目	内容/条件
1	提供条件	<ul style="list-style-type: none">• 本サービスを利用して配信するコンテンツ（権利処理含む）は、契約者にて準備すること。• ライブ配信のインジェスト設備（撮影機材・エンコーダ・NW 機器等）は原則契約者にて準備すること。• ライブ配信のインジェスト用回線は、インジェストに十分な品質（スループット）を有すること。• ライブ配信のインジェスト設備に関する事故にかかる責任は、全て契約者にて負うこと。• CMS 接続設備（操作端末・ブラウザ・NW 機器・インターネット接続回線等）は、お客様にて準備すること。• CMS 接続用回線は、CMS 操作に十分な品質（スループット等）を有すること。• CMS 接続設備に関する事故にかかる責任は、全てお客様にて負うこと。• コンテンツ視聴サイトは、契約者にて準備すること。• コンテンツ視聴サイトへの視聴プレイヤーの埋め込みは契約者にて実施すること。• 視聴者へのサイト URL 周知は契約者にて実施すること。• ライブ配信の運用（配信開始・停止、公開・非公開、蓋被せ等）は契約者にて実施すること。• 視聴設備（視聴端末・ブラウザ等）は契約者（視聴者含む）にて準備すること。• 視聴に必要な推奨ブラウザのインストール・アップデートは契約者（視聴者含む）にて実施すること。• 視聴回線は視聴に十分な品質（スループット）を有すること• 視聴設備に関する事故にかかる責任は、全て契約者（視聴者含む）にて負うこと。

		<ul style="list-style-type: none"> • 本サービスを利用して有償コンテンツを配信する場合、有償配信にかかる H.264 ライセンス料については、契約者にて負担すること。 ※サービスシステムにかかる H.264 ライセンス料については、本サービスが負担します。 • その他サービス利用規約に記載の項目を遵守すること。
2	提供区分	本サービスの提供区分を図 1 に示します。
3	提供時間	本サービスの提供時間は、24 時間 365 日となります。
4	提供エリア	<p>本サービスの提供エリアは日本国内です。</p> <p>当社は、日本国外で本サービスを利用すること、または利用できないことにより契約者に生じた損害に対して責任を負わないものとします。</p>
5	配信映像仕様	<p>本サービスの映像入力（インジェスト）仕様は下記となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 映像 CODEC：H.264 ※ H.264 の B フレームには非対応です。入力映像には B フレームの挿入をしないでください。 • 音声 CODEC：AAC • プロトコル：RTMP • 最大ビットレート：10Mbps • 最大フレームレート：60fps • 最大解像度：1080p <p>※上記の仕様外の映像入力を受け付けないことがあります。</p> <p>※上記の仕様外の映像入力に対する動作は保証しません。</p> <p>本サービスの映像出力（配信・視聴・録画）仕様は下記となります。</p> <p>■ライブ配信（WebRTC）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 映像 CODEC：H.264 • 音声 CODEC：Opus • プロトコル：WebRTC • 最大ビットレート：10Mbps（入力映像のビットレートに依存※） • 最大フレームレート：60fps（入力映像のフレームレートに依存※） • 最大解像度：1080p（入力映像の解像度に依存※） <p>※ 本サービスは、視聴環境により配信映像パラメータ（ビットレート・フレームレート・解像度）を自動的に変更する Adaptive Bitrate (ABR) 機能を有します。ABR 機能により、視聴環境によっては視聴映像の品質が低下する場合があります。</p> <p>■追いかけ再生（HLS）</p>

		<ul style="list-style-type: none"> 映像 CODEC : H.264 音声 CODEC : AAC プロトコル : HLS (Http Live Streaming) <p>出力映像に関する選択可能な映像パラメータは下表となります。</p> <table> <tr> <th>配信ビットレート(bps)</th><th>解像度</th><th>フレームレート(fps)</th></tr> <tr><td>10M</td><td>1920×1080</td><td>30</td></tr> <tr><td>8M</td><td>1920×1080</td><td>30</td></tr> <tr><td>6M</td><td>1920×1080</td><td>30</td></tr> <tr><td>4M</td><td>1920×1080</td><td>30</td></tr> <tr><td>2.5M</td><td>1920×1080</td><td>30</td></tr> <tr><td>2M</td><td>1280×720</td><td>30</td></tr> <tr><td>1.5M</td><td>960×540</td><td>30</td></tr> <tr><td>1M</td><td>960×540</td><td>30</td></tr> <tr><td>500K</td><td>640×360</td><td>30</td></tr> </table> <p>※ 追いかけて再生 (HLS) につきましても Adaptive Bitrate (ABR) 機能を有します。ABR 機能により、視聴環境によっては視聴映像の品質が低下する場合があります。</p> <p>■ ライブ録画</p> <ul style="list-style-type: none"> 映像 CODEC : H.264 音声 CODEC : AAC ファイル形式 : mp4 最大ビットレート : 2.5Mbps (全ライブ一律) 最大フレームレート : 30fps (全ライブ一律) 最大解像度 : 1080p (全ライブ一律) 	配信ビットレート(bps)	解像度	フレームレート(fps)	10M	1920×1080	30	8M	1920×1080	30	6M	1920×1080	30	4M	1920×1080	30	2.5M	1920×1080	30	2M	1280×720	30	1.5M	960×540	30	1M	960×540	30	500K	640×360	30
配信ビットレート(bps)	解像度	フレームレート(fps)																														
10M	1920×1080	30																														
8M	1920×1080	30																														
6M	1920×1080	30																														
4M	1920×1080	30																														
2.5M	1920×1080	30																														
2M	1280×720	30																														
1.5M	960×540	30																														
1M	960×540	30																														
500K	640×360	30																														
6	推奨エンコーダ	<p>下記要件を満たすライブエンコーダを推奨いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 出力 CODEC : H.264/AAC 出力 : RTMP <p>※配信遅延を低減するために、出力遅延の少ないエンコーダを推奨致します。</p>																														
7	推奨インジェスト環境	<ul style="list-style-type: none"> 本サービスへのインジェスト (ライブ設定を含む) を行うためには、下記の通信が許可されている必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> 1935 TCP (RTMP) 443 TCP (CMS) 53 UDP (DNS) 安定したライブ配信を行うためには、配信ビットレート (サービス仕様上の最大ビットレートは 10Mbps) のインジェストが安定的に行える通信環境が必要です。 																														
8	推奨視聴端末	以下公式サイトより、ご確認ください。																														

9	CMS 操作端末	推奨環境
10	スタジオ操作端末	
11	推奨視聴環境	<ul style="list-style-type: none"> • ライブ配信（WebRTC）の視聴を行うためには、下記の通信が許可されている必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> • 443 TCP（WebRTC） • 10000～59999 UDP（WebRTC） • 53 UDP（DNS） ※ 10000～59999 UDP の通信が許可されていないネットワークにおいては、下記いずれかのポートを利用して視聴が可能です。視聴品質が安定しない場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> • 443,3478 UDP • 443,80 TCP • 443 TLS • 追いかけて再生（HLS）の視聴を行うためには、下記の通信が許可されている必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> • 443 TCP（HLS） • 安定したライブ視聴を行うためには、配信ビットレート（サービス仕様上の最大ビットレートは10Mbps）の通信が安定的に行える通信環境が必要です。
12	配信遅延	<p>本サービスを利用したライブ配信および視聴について、遅延時間を保証するものではありません。次の場合等において、本サービスを利用したライブ配信の遅延量が多くなることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 契約者が配信対象の動画をインGESTする際に利用する設備（撮影機材・伝送機材等）および通信環境（インGEST用ネットワーク機器・回線・インターネット等）の遅延性能が、必要な性能に満たないとき。 • 視聴者が視聴対象の動画を視聴する際に利用する通信環境（公衆無線サービス・家庭内 Wi-Fi・インターネット等）および視聴設備（視聴端末・利用ブラウザ）の遅延性能が、必要な性能に満たないとき。

13	視聴品質	<p>本サービスを利用したライブ配信および視聴について、視聴品質を保証するものではありません。次の場合等において、一定品質での視聴ができないことがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 契約者が配信対象の動画をインGESTする際に利用する設備（撮影機材・伝送機材等）および通信環境（インGEST用ネットワーク機器・回線・インターネット等）の性能が、必要な性能に満たないとき。 • 視聴者数が、急激に増加したとき。 • 視聴者が視聴対象の動画を視聴する際に利用する通信環境（公衆無線サービス・家庭内 Wi-Fi・インターネット等）および視聴設備（PC・タブレット・スマートフォン等）の性能が、必要な性能に満たないとき。
14	設備構成による影響	<p>一部の設備が共用のため、混雑状況によっては、利用に影響が出る場合があります。</p>
15	インGEST URL・ストリームキー・視聴プレイヤーの埋め込みコード	<ul style="list-style-type: none"> • 契約期間中、契約者は CMS にてインGEST URL・ストリームキー・視聴プレイヤーの埋め込みコードおよび視聴用 URL を発行することができます。 • インGEST URL・ストリームキーおよび視聴プレイヤーの埋め込みコードは、最大 5 組まで発行することができます。6 組目の発行が必要な場合は、既存のインGEST URL・ストリームキーおよび視聴プレイヤーの埋め込みコードを、CMS にて削除する必要があります。 • 契約者は、その内容をみだりに第三者に知らせてはならないものとします。当社は、インGEST URL・ストリームキー・インGEST元 IP アドレスおよび視聴プレイヤー等が、契約者さまが CMS にて発行した情報と一致することを確認した場合、当該情報等を保有する者として登録された契約者が本サービスを利用したものとしなします。 • インGEST URL・ストリームキーおよび視聴プレイヤーの埋込コードを CMS にて削除した後は、それまで利用していたインGEST URL・ストリームキーおよび視聴プレイヤーによるライブ配信・視聴はできません。
16	入力の冗長化	<ul style="list-style-type: none"> • 映像入力の冗長化が必要な場合は、入力バックアップのオプションの契約が必要です。 • 入力バックアップを利用する場合は、該当のライブ配信に対して、インGEST URL・ストリームキーが 2 個発行されます。2 個のインGEST URL に対し、同一の映像をインGESTすることにより、2 個のうちどちらかのインGESTが停止した場合も、停止していないインGESTに自動切り替えを行い、ライブ配信を継続することができます。インGESTの自動切り替え時には、数秒の配信中断を伴います。

		<ul style="list-style-type: none"> 入力バックアップを利用しない場合、インジェスト URL・ストリームキーおよび視聴プレイヤーの埋め込みコードは、映像入力ごとに別々のものとなるため、契約者にて、映像入力ごとの視聴プレイヤー切り替えを行う必要があります。
17	視聴制御	<ul style="list-style-type: none"> 本サービスで提供する視聴プレイヤーは、視聴制御機能（視聴者認証・視聴者制限等）を提供しておりません。 視聴制御が必要な場合は、契約者にて視聴制御の対応を頂く必要があります。
18	配信容量	<ul style="list-style-type: none"> 配信容量加算額の算定基準となる配信容量は、動画配信装置から配信された配信容量となります（視聴端末が受信したデータ容量とは異なります）。 配信容量は、ライブ配信（WebRTC）および追いかけて再生（HLS）の配信容量の総和となります。 配信容量加算額は、最大同時配信容量を超えて配信された場合、超過した配信容量 1 GB ごとに、料金表に規定する料金額を乗じて得た額とします。図 2 に概要を示します。
19	同時視聴端末数	<ul style="list-style-type: none"> 同時視聴端末数加算額の算定基準となる、同時視聴端末数は、動画配信装置から動画データを同時に配信する視聴端末数となります。 同時視聴端末数は、全ライブ配信（WebRTC）および全追いかけて再生（HLS）の同時に配信する視聴端末数の総和となります。 同時視聴端末数加算額は、最大同時視聴端末数を超えて配信された場合、料金月を通じて最も高い同時視聴端末数を記録した 1 回の配信について、最大同時視聴端末数を超過後「スタンダード」、「プロフェッショナル」、「プレミアム」プランは視聴端末数 100 台ごと、「2 アングル」～「5 アングル」のプランは視聴端末数 300 台ごとに、料金表に規定する料金額を乗じて得た額とします。図 3 に概要を示します。
20	CMS	<ul style="list-style-type: none"> Smart vLive®の配信に関する各種設定や情報参照を行うための Web アプリケーションをいいます。
21	CMS API	<ul style="list-style-type: none"> CMS 操作を Web ブラウザ画面からでなく、API 経由で利用されたい場合は、別途担当者へご相談ください。
22	アカウント ID	<ul style="list-style-type: none"> CMS のアカウント単位に当社が払い出しする ID のことをいいます。 アカウント ID には複数のサービスプランを紐づけすることができます。
23	代表ユーザー名	<ul style="list-style-type: none"> アカウント ID に対する 1 つの特権ユーザーのことを代表ユーザー名といいます。 代表ユーザー名は申込時に指定頂いた文字列となります。 代表ユーザー名の文字列の仕様は下記の通りです。 <p>① 使用可能な文字：英数（大文字、小文字）、記号（@ . - _ ）（アット</p>

		<p>マーク、ピリオド、ハイフン、アンダーバー)</p> <p>② 代表ユーザー名の文字数：4 文字以上 20 文字以下</p>
24	初期パスワード	<ul style="list-style-type: none"> 上記アカウント ID、代表ユーザー名と共に利用する初回のログイン時にご利用頂くパスワードを初期パスワードといたします。
25	一般ユーザー名	<ul style="list-style-type: none"> 一般ユーザー（一般ユーザー名とパスワードの組合せ）は、特権を持つ契約者が CMS のアカウント ID と代表ユーザー名とパスワードを用いて、CMS にて作成した一般ユーザーのことをいいます。 一般ユーザーは最大 10 ユーザーの登録が可能です。 一般ユーザー名の文字列の仕様は下記の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> ① 使用可能な文字：英数（大文字、小文字）、記号（@ . - _ ）（アットマーク、ピリオド、ハイフン、アンダーバー） ② 一般ユーザー名の文字数：4 文字以上 20 文字以下
26	追いかけて再生(HLS)	<ul style="list-style-type: none"> 追いかけて再生(HLS)とは、ライブ配信中に視聴映像を、CMS にて設定した HLS 視聴開始日時まで遡り、視聴できる機能です。 ライブ配信終了後は追いかけて再生(HLS)は利用できません。 追いかけて再生(HLS)オプションの利用時間の測定は、測定対象期間において、契約者が CMS にて追いかけて再生（HLS）機能を有効化したライブ配信を開始し、そのライブ配信を停止するまでの時間を CMS 操作履歴に基づき、算出します。同一料金月の中で 1 配信ごとの利用時間を合計し、算出した合計時間は、1 時間を単位とし、端数は切り上げるものとします。 ライブ配信終了時には、必ず CMS にてライブ配信停止操作を実行願います。インジェストの終了にかかわらず、契約者ご自身による停止操作がされるまでの時間が課金対象となりますので、ご注意ください。
27	ライブ録画	<ul style="list-style-type: none"> ライブ録画とはライブ配信中の映像を契約者が録画できる機能です。 ライブ録画のオプションの利用時間の測定は、測定対象期間において、契約者が CMS にてライブ録画機能を有効化したライブ配信を開始し、そのライブ配信を停止するまでの時間を CMS 操作履歴に基づき、算出します。同一料金月の中で 1 配信ごとの利用時間を合計し、算出した合計時間は、1 時間を単位とし、端数は切り上げるものとします。 ライブ配信終了時には、必ず CMS にてライブ配信停止操作を実行願います。インジェストの終了にかかわらず、契約者ご自身による停止操作がされるまでの時間が課金対象となりますので、ご注意ください。 ライブ録画ファイルについては、ライブ録画オプションを解約されますと削除されますので、オプション解約までに契約者がバックアップを実施願います。

28	入力バックアップ	<ul style="list-style-type: none"> • 入力バックアップとは、映像入力系統を2系統化することです。 • 入力バックアップオプションの利用時間の測定は、測定対象期間において、契約者がCMSにて入力バックアップ機能を有効化したライブ配信を開始し、そのライブ配信を停止するまでの時間をCMS操作履歴に基づき、算出します。同一料金月の中で1配信ごとの利用時間を合計し、算出した合計時間は、1時間を単位とし、端数は切り上げるものとします。 • ライブ配信終了時には、必ずCMSにてライブ配信停止操作を実行願います。インジェストの終了にかかわらず、契約者ご自身による停止操作がされるまでの時間が課金対象となりますので、ご注意ください。
29	スタジオ	<ul style="list-style-type: none"> • スタジオとは、ライブ配信映像を受付、編集、合成などができる機能です。 • スタジオのダッシュボードにて編集した映像を Smart vLive®上でライブ配信することができます。 • スタジオのダッシュボードご利用時には、CMSにて認証を行う必要があります。CMSへログイン後、スタジオ機能のダッシュボードリンク先へアクセスください。 • スタジオのダッシュボードにおける同時ログイン数は、最大4アカウントまでとなります。 • スタジオのダッシュボードにて受付可能な映像入力数は、最大8ch(①RTMP入力が推奨2~4ch、②PC/スマートフォン等からの映像アップロードは最大8ch、①・②の入力を合わせて最大8ch)となります。 • OSのバージョン、ブラウザのバージョン、端末の機種によっては、仕様とは異なる挙動、適切に機能しない可能性がございます。 • スタジオのダッシュボードにて出力される映像数は、ダッシュボード1つに対し、出力映像1つとなります。 • スタジオ機能を使用する際に利用する設備（操作端末、撮影端末、等）および通信環境（インジェスト用ネットワーク機器・回線・インターネット等）の性能が必要な性能に満たない場合、仕様と異なる挙動の発生、もしくは適切に機能しない可能性がございます。 • スタジオの利用時間の測定は測定対象期間において、契約者がCMSにて、スタジオを開始し、そのスタジオを停止するまでの時間をCMS操作履歴に基づき、算出します。同一料金月の中で1配信ごとの利用時間を合計し、算出した合計時間は、1時間を単位とし、端数は切り上げるものとします。ただし、利用開始日が含まれる月の利用時間については、上記にて算出した利用時間から2時間を差し引き、最終算出時間とします。 • スタジオ利用終了後には、必ず、CMSにて、スタジオの停止操作を実行願います。ライブ配信有無にかかわらず、CMS画面で契約者ご自身によ

		る停止操作がされるまでの時間が課金対象となりますので、ご注意ください。
30	マルチアングルプレイヤー	<ul style="list-style-type: none"> マルチアングルプレイヤーは、作成したライブを用いて、レイアウトパターンを選択することで、マルチアングルプレイヤーのサンプル URL を作成できる機能です。 マルチアングルプレイヤーを利用できるのは「2 アングル」～「5 アングル」プランおよび「カスタムプラン」のみとなります。
31	お申込みについて	利用規約の定めに基づき、お申込みの受付をお断りする場合がございます。
32	開通日	<ul style="list-style-type: none"> 新規申込、変更申込（サービスプラン変更、サービスのオプション変更）、解約申込の標準開通期間は、当社が申込を受領した日から 8 営業日（営業日とは、土日祝日を除く平日（月～金）をいいます）となります。ただし、申込内容に不備があった場合等は、この限りではありません。
33	月額料金の確定	<ul style="list-style-type: none"> 月額料金は、定額最低基本額と配信容量加算額と同時視聴端末数加算額とオプション利用加算額に基づき確定します。 アカウント ID 等が一致する配信容量と同時視聴端末数を、当該情報等を保有する者として登録された契約者の配信容量と同時視聴端末数として算定します。 配信容量と同時視聴端末数は、視聴形態・視聴者・視聴目的等に依らず、上記の算定方法に基づき算定するものとし、契約者の想定以上のトラフィックがあった場合においてもお支払いいただきます。 オプション利用加算額は、ライブ配信において、オプション機能（追いかけ再生（HLS）、ライブ録画、入力バックアップ、スタジオ）を利用した時間に対する利用料金です。オプション毎に、各オプションを有効化したライブ配信の開始から停止までの時間を CMS 操作履歴に基づき算出し、料金月の中で合計した時間より算出します。算出した合計時間は、オプション毎に 1 時間を単位とし、端数は切り上げるものとします。オプション毎のオプション利用加算額は、料金表に規定する料金額を乗じて得た額とします。 なお「セミナー配信支援パック」については、別途料金表に規定する通りとします。
34	故障対応	<ul style="list-style-type: none"> 故障またはそれに類する事象が発生し、サービスが利用できない状態が継続した場合、故障情報を下記 URL のサポートサイトに掲載します。サポートサイト URL：https://support.ntt.com/smartvlive 故障発生時、サービス復旧後にインジェスト設備および視聴設備から、本サービスへの再接続を行って頂く必要があります。

35	障害時のアカウント ID・代表ユーザー名	<ul style="list-style-type: none"> 大規模障害等システム障害の状況によっては、アカウント ID・代表ユーザー名を変更することがあります。
36	メンテナンス工事	<ul style="list-style-type: none"> 本サービスを提供するシステムに対するセキュリティパッチ適用、システムバージョンアップ等で、契約者の利用に影響のあるメンテナンス工事を行う場合は、工事予定日の 1 週間前までに、メール通知・契約者サポートサイトへの掲示をもって通知するものとします。ただし、緊急の場合は、この限りではありません。 メンテナンス工事が必要な場合は、毎週水曜日 0:00~ 6:00 をメンテナンスウィンドウとし、原則この時間内にて実施します。
37	サポート	<p>サービスのサポート内容は下記となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 対応時間：24 時間 365 日 言語：日本語 連絡方法： <ul style="list-style-type: none"> サポートサイト（お問い合わせフォーム） URL：https://support.ntt.com/smartvlive 連絡者：契約者（視聴者からの直接問合せは対象外となります） <p>※ 応答時間等に関する SLA はありません。</p>
38	補償	<p>利用規約に定める場合を除き、契約者に発生した一切の損害について補償致しません。</p>

図 1-1 提供区分





	コンテンツ	撮影・伝送 機材	CMS 操作端末	インター ネット 接続回線	インター ネット	インター ネット 接続回線	クラウド スタジオ機能	Smart vLive	インター ネット 接続回線	インター ネット	インター ネット 接続回線	視聴端末	視聴 プレイヤー
接続構成	Live src				Internet			Smart vLive 配信基盤 ダッシュ ボード Smart vLive CMS		Internet			
責任区分			お客様					当社			お客様		当社

図 1-2 提供区分(「セミナー配信支援パック」の場合)






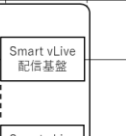



	コンテンツ	撮影・伝送 機材	CMS 操作端末	AWS接続 回線	Internet	Internet Connectiv ity	クラウド スタジオ機能	Smart vLive	セミナー配 信サイト	Internet Connectiv ity	Internet	視聴用回線	視聴端末	視聴 プレイヤー
接続構成		 												
責任区分(対顧客)	お客様	当社 お客様		お客様			当社				お客様			当社

図 2 配信容量

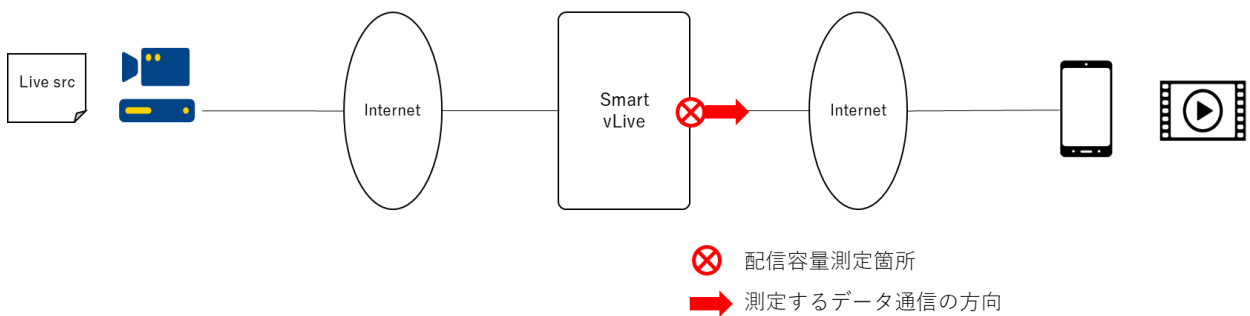
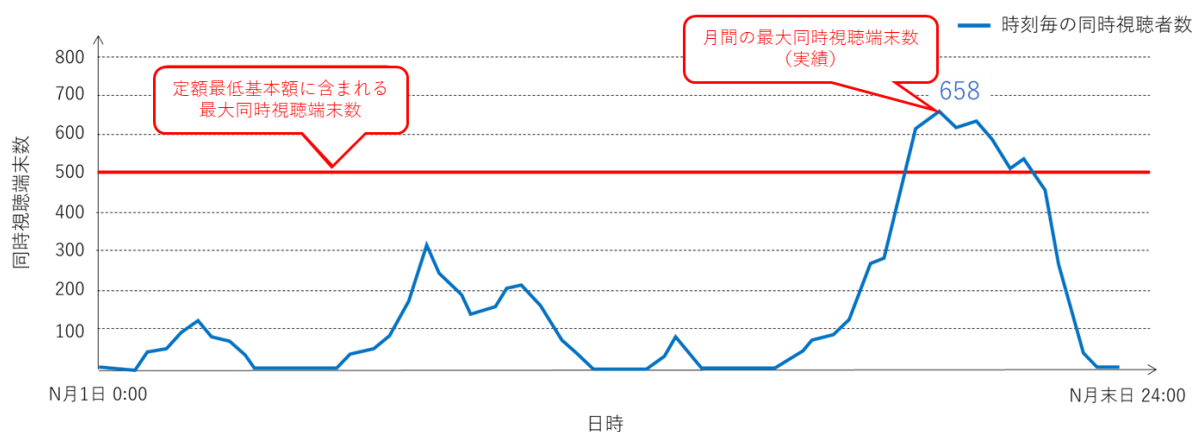


図 3 同時視聴端末数



※上図(プロフェッショナルプランの例)の場合、定額最低基本額に含まれる最大同時視聴端末数 500 に対して、月間の最大同時視聴端末数(実績)は 658 (600 以上 700 以下)であるため、追加 200 同時視聴分の最大同時視聴端末数加算額が加算されます。

図 4 オプション利用加算額

ある月におけるライブ配信イメージ

ケース	ライブ配信	ライブ配信時間 ※CMS操作の開始～ CMS操作の終了まで	追いか け再生 (HLS)	ライブ 録画	入力 バック アップ	クラウ ドスタ ジオ
スタンダードプランで 下記3つのオプションを申込 ・追いかけ再生(HLS) ・ライブ録画 ・入力バックアップ ・スタジオ	ライブ1	1時間20分	ON	OFF	OFF	ON
	ライブ2	2時間10分	ON	ON	ON	OFF
	ライブ3	2時間30分	OFF	OFF	ON	OFF
	ライブ4	2時間30分	OFF	OFF	OFF	ON
	ライブ5	2時間10分	OFF	OFF	OFF	OFF

オプション申込をしても、
ライブ配信時にオプション
を適用しないライブ5は
課金対象外となります

各オプション毎の算定の考え方イメージ

オプション	計算対象となるライブ					オプション毎の 料金月の合計時間	料金加算となる 適用算定時間
	ライブ1	ライブ2	ライブ3	ライブ4	ライブ5		
追いかけ再生(HLS)	○	○	-	-	-	3時間30分	4時間
ライブ録画	-	○	-	-	-	2時間10分	3時間
入力バックアップ	-	○	○	-	-	4時間40分	5時間
スタジオ	○	-	-	○	-	2時間50分	3時間

※上図（スタンダードプランで3つのオプションを申込した例）の場合、3つのオプションを申込すると、契約者がライブ配信毎にオプションの適用可否を選択できます。オプション毎にライブ毎の配信時間を料金月で合計を行います。上図の場合の料金加算となる適用算定時間は、追いかけ再生(HLS)オプションが4時間、ライブ録画が3時間、入力バックアップは5時間となります。

ライブ4のようにオプションを全く利用しない場合、オプション利用加算額はかかりません。

※スタジオオプションについては、利用開始日が含まれる月の利用時間については、上記にて算出した利用時間から2時間を差し引き、最終算出時間とします。

図 5 オプション利用加算額(スタジオ機能の場合)

基本パターン（スタジオを1つ起動の場合は以下）

- ・59分利用→ 1hとして換算
- ・1h1分利用→ 2hとして換算
- ・2h40分利用→ 3hとして換算

複数パターン（スタジオを2つ以上起動）

	スタジオの時間を合算	
	スタジオA	スタジオB
実績	1h 20 min	2h 30min
合算	3h 50min	
課金	4h	

※個々のスタジオの集計について

- ・契約管理番号単位 of スタジオ1つ毎に、同月内における起動～停止の期間を集計

- ・ 同月末日も起動中のままの場合は、「起動開始時間～月末日 23:59:59」として算定
- ・ 前月から継続して起動中のままの場合は、「月初日 00:00:00～停止時間」として算定

※複数スタジオ利用時の課金計算について

- ・ 図 5 のように 1 つのスタジオ毎の利用時間を月間の範囲で利用時間を単純に合算する。
- ・ 同一契約番号内の複数のスタジオの集計結果を合算した時間を「当該月の利用時間」とする。